

科目名	パターンメイキングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	渡辺 杉子

【科目の到達目標】

ドレーピングによる衣服の立体的な把握と、基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、新しさを兼ね備えた商品作りのためのトワールを作成できる人材になるよう技術を習得する

【科目の概要】

平面製図、CADなどパターンメイキングの手法が多様化する中で、素材の特性を感じながら実際にデザインをボディ上で形にする経験はとても重要である。各種デザインパターンへの理論的に展開し、トワールチェック後、ファーストパターン作成までの時間短縮に努める。サイズ展開の基本をグレーディング実習により体験する。

【授業計画】 90分/コマ	前期
1	1本ダーツ・2本ダーツスカート・サーキュラスカートの中から1型選び原型ひく パターン作成
2	創作スカート パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成
3・4	創作スカート トワールチェック・マスターパターン修正・ファーストパターン作成・縫製仕様書作成
5・6	創作子供服 デザイン出し・パターン作成・縫製指示書作成
7・8	創作子供服 トワール組み立てチェック・補正・フルパターン作成・縫製仕様書作成
9・10	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成
11・12	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) トワールチェック・マスターパターン修正・ファーストパターン作成
13・14	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) 表襟・見返し展開パターン作成・縫い代付きパターン・縫製仕様書作成
15・16	メンズジャケット・創作デザイン マスターパターントレース・デザイン展開・パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成
17・18	メンズジャケット・創作デザイン トワール組み立てチェック・縫製仕様書作成
19・20・21	グレーディング 概論・スカート・身頃
22	創作デザイン・トータルコーディネート デザイン出し・パターン作成・縫製仕様書作成
23・24	創作デザイン・トータルコーディネート パターン作成・トワール組み立て
25・26	創作デザイン・トータルコーディネート トワール組み立てチェック・補正
27・28	創作デザイン・トータルコーディネート 補正・フルパターン作成
29	創作デザイン・トータルコーディネート 補正・フルパターン作成・縫製仕様書作成
30	前期試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

山路俊美「図解・紳士服の型紙の作り方」
相尾純子「パターングレーディング」

【教材・教具】

製図用具一式 トワール組用具一式

科目名	ドレーピングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	渡辺 杉子

【科目の到達目標】

ドレーピングによる衣服の立体的な把握、新しさと美しさを兼ね備えた商品作りのためのトワールを作成できる人材。

【科目の概要】

平面製図、CAD等パターンメイキングの手法が多様化する中で、素材の特性を感じながら実際にデザインをボディ上で形にする経験はとても重要である。ドレーピングにより、新しさと美しさを兼ね備えたトワールを作成し、プレゼンテーションする。

【授業計画】

90分/コマ	前期
1・2 3・4	●創作デザインヨークスカート
5・6	●ビスチェ
7・8 9・10	●ドレープ襟コート
11・12 13・14 15・16	●ギャザーのブラウス
17・18 19・20 21・22	●テーラードジャケット
23・24 25・26 27・28	●ロングドレス
29・30	後期試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

オリジナルプリント

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションドローイングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

1年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。制作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】 90分/コマ	前期		後期
1・2	ヌード、顔、ヘア、手足の復習	31・32	全国ファッション画コンクール
3・4	アナライズ	33・34	ファッションクロッキー
5・6	就職対策(画材表現)	35・36	早描き
7・8	就職対策(ポージング)	37・38	1920年から1990年代のイラストを学ぶ
9・10	就職対策(着装とハンイラ)	39・40	1920年から1990年代のイラストを学ぶ
11・12	プレタ展の作品表現	41・42	1920年から1990年代のイラストを学ぶ
13・14	プレタ展の作品表現	43・44	1920年から1990年代のイラストを学ぶ
15・16	就職対策(パターンからデザイン)	45・46	アクセサリ表現:顔・帽子 1
17・18	アイテム画表現:ボトムス	47・48	アクセサリ表現:顔・帽子 2
19・20	アイテム画表現:トップス	49・50	アクセサリ表現:足・シューズ 1
21・22	加工指図書用のデザイン画表現	51・52	アクセサリ表現:足・シューズ 2
23・24	加工指図書用のデザイン画表現	53・54	アクセサリ表現:バッグとコーディネート 1
25・26	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)	55・56	アクセサリ表現:バッグとコーディネート 2
27・28	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)	57・58	創作ドローイングⅡ
29・30	デザイン画選手権の作品製作 3(着色) 試験	59・60	試験・課題まとめ

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35 % 実習 65 %
時間数	120	作成者	山田 浩之

【科目の到達目標】

商品をコレクションで企画出来る。
プラスアルファのデザインが出来る

【科目の概要】

商品を批評し、企画提案が出来る。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1 2	デザインの指向と就職指導	31 32	大学とのコラボ企画(提案)・上田学園コレクションデザイン提案
3 4	プレタポルテのデザイン研究(市場研究)	33 34	大学とのコラボ企画(発表)・上田学園コレクションデザイン提案
5 6	プレタポルテのデザイン研究(ターゲット層)	35 36	素材産地コラボ企画(ニット、研究)
7 8	プレタポルテのデザイン研究(提案)	37 38	素材産地コラボ企画(ニット、提案)
9 10	奈良毛皮革コラボレーション企画(市場調査)	39 40	素材産地コラボ企画(ニット、研発表)
11 12	奈良毛皮革コラボレーション企画(提案)	41 42	2022SSトレンド分析① トレンドキーワードⅠ
13 14	奈良毛皮革コラボレーション企画(発表)	43 44	2022SSトレンド分析② トレンドキーワードⅡ
15 16	奈良毛皮革コラボレーション企画(発表)	45 46	2022SSトレンド分析③ ランウェイ注目アイテム
17 18	就職対策プレタポルテ作品集制作(制作)	47 48	2022SSトレンド分析④ カラー、モチーフ、ディティール
19 20	就職対策プレタポルテ作品集制作(発表)	49 50	2022SSトレンド分析⑤ シルエット、素材
21 22	徳島藍染めコラボ企画(調査)	51 52	ファッションニュース分析① ファッション業界分析Ⅰ
23 24	徳島藍染めコラボ企画(提案)	53 54	ファッションニュース分析② ファッション業界分析Ⅱ
25 26	徳島藍染めコラボ企画(発表)	55 56	ファッションニュース分析③ 2022/23AW分析
27 28	大学とのコラボ企画(研究)	57 58	ファッションニュース分析④ 2022/23AW分析
29 30	前期末テスト	59 60	後期末テスト

【成績評価方法】

課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

【教科書・参考書】

『ファッションデザインベーシック』BNN Richard Sorger & Jenny Udale
『ファッションデザインアーカイブ』株グラフィック社 高村是州
『ファッションデザインアイデアノート』株グラフィック社 渡辺 直樹
ファッション週刊誌WWDジャパン

【教材・教具】

配布プリント 筆記用具 ハンガーイラストが描ける用具 電卓 画材

科目名	コンピュータ演習Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間部
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	鶴 鉄雄

【科目の到達目標】

メディアとしてのポートフォリオの概念を理解し、デジタルマーケティングの視点を活用したポートフォリオの作成体験をする。
 その中で実現したいイメージを役立つ形にするまでの、実践的な考え方と編集能力の習得を目標とする。□

【科目の概要】

本科目ではデジタルマーケティングの仕組みと考え方を活用したWebで活用できるポートフォリオの作成を行う。
 「デザインの原則と編集の基礎知識」を修得して実際の作成を行う。作成にあたっては、全体の仕上がりがイメージの方向決め、
 台割・コマ割を行い、キャッチフレーズなどの文字や図形、写真などの配置に対して全体のバランスを意識して組み立てる。

【授業計画】 90/コマ	前期	【授業計画】 90/コマ	後期
1	オリエンテーション	31	質疑応答のQ&A形式 (主体的スキルアップを行う) 事前の目標設定と事後の結果レポート ・Photoshop ・Illustrator ・Excel
2	ポートフォリオデザイン 情報編集の考え方と概念 <u>①デザインの原則と情報編集の基礎</u> ・イメージの方向決め ・コンテンツのマインドマップ化 ・台割 ・サムネイル ・ラフスケッチ ・編集レイアウト内容 (1) ターゲット企画 (2) 情報企画 (3) 商品コンセプト企画 (4) コーディネート企画 (5) アイテム企画 (6) デザイニング (7) プロモーション企画 <u>②印刷データ仕上げ</u> <u>③Webポートフォリオ作成</u>	32	
3		33	
4		34	
5		35	
6		36	
7		37	
8		38	
9		39	
10		40	
11		41	
12		42	
13		43	
14		44	
15		45	
16		46	
17		47	
18		48	
19		49	
20		50	
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【参考書】

参考資料PDF

【教材・教具】

ドライブで共有

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	60	作成者	秦野知邦

【科目の到達目標】

- ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。
- ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。
- ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。

【科目の概要】

ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、パーパスを考える
 アパレル業界の仕組みや流れを理解し、今の時代に合ったビジネスをデザインする
 最新の業界の情報を新聞・雑誌・ネット情報だけでなく、リサーチなど行動して五感で感じる

【授業計画】 90分/コマ	前期		後期
1	ファッションビジネスの現状について	16	企業が求める人材について
2	パラダイムシフトについての講義	17	ラグジュアリーブランドのビジネス戦略
3	マーケティングのプロセスについて 「コトラーのマーケティング4.0」	18	グローバルSPAブランドのビジネス戦略
4	デジタルマーケティングについて	19	セレクトショップのビジネス戦略
5	ブランディング戦略についての講義	20	オムニチャネル・OMOについての講義
6	one to oneビジネスについての講義	21	リアル店舗の魅力と役割を形にする
7	ロイヤルカスタマー化の重要性 「LTV」「ユニファイドコマース」など	22	リアル店舗の企画資料を作成する
8	これからのマーチャンダイザーの資質	23	ストーリーテリングなどCXの最大化 についての講義
9	D2C/DNVBについての講義	24	ファッションビジネスにおけるDX マーケティング5.0についての講義
10	ブランドパーパスについての講義	25	ファッションビジネストレンド 自己実現;イミ消費;共創について
11	D2CビジネスにおけるCXの最大化	26	世界のクリエイティブなデザイナー のパーパスから学ぶ
12	サーキュラーファッションについて	27	D2C/DNVBビジネスについての講義 「カスタマージャーニーマップ」
13	損益分岐点などの計数や取引 5つの利益の重要性を理解	28	計数や取引慣行と数字の見方について
14	ファッションの仕事の魅力について	29	ブランドやショップを立ち上げる キーポイントについての講義
15	期末テスト (筆記試験)	30	期末テスト (筆記試験)

【成績評価方法】

- ・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 30% ・ 期末試験 30%

【教科書・参考書】

日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント

【教材・教具】

ノート ・ 筆記用具

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	相馬成男
【科目の到達目標】専門学校では注文服(オートクチュール)作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服(プレタポルテ)が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を目指す。			
【科目の概要】国内繊維産業は長年の厳しい国際競争の中で、①高機能・高性能繊維、②高品質・高感性の素材、③精緻な縫製技術の3点が強みとしてあげられているが、衣料品の輸出は先進国の中で極めて少ない。一方で持続可能な開発目標(SDGs)達成が掲げられており、これら現状認識をしながら、アパレル企業が行う技術的業務の基礎知識をテキスト、パワーポイント及び動画と適宜配布資料を用いて講義を進める。			
【授業計画】 90分/コマ	前期		
第1週	第1章 アパレル産業の歴史と変遷		
第2週	第11章 世界と日本の繊維生産 第2章 アパレル製品の商品企画		
第3週	第3章 アパレル製品の副資材 - 1		
第4週	第3章 アパレル製品の副資材 -2		
第5週	各論 第3章 スポーツウエア		
第6週	第4章 アパレル製品用材料の 試験と検査		
第7週	第5章 アパレル製品の縫製 と二次加工		
第8週	各論 第4章 下着(インナーウエア) 各論 第5章 靴下		
第9週	第6章 アパレル製品の検査 と品質管理		
第10週	第7章 アパレル製品の安全・安心		
第11週	各論 第1章 紳士服 -1		
第12週	第8章 アパレルの表示と関連法規		
第13週	第9章 アパレル製品の洗濯 とメンテナンス		
第14週	第10章 アパレル製品の品質管理 と消費者対応		
第15週	各論 第1章 紳士服 -2 各論 第2章 婦人服 総復習 経済産業省,環境省,消費者庁情報		
【成績評価方法】 毎回講義後の課題(宿題)の評価:50%、期末試験:40%、授業態度:10%			
【教科書・参考書】 編集:一社団法人 日本繊維技術士センター、『業界マイスターに学ぶ「アパレルの基礎知識」』、 発行所:金壽堂出版有限会社、発行日:2020年7月3日			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	福田新之助

【科目の到達目標】

主として近世（ルネサンス）から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回に一回（30分程度）4～5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- | | |
|----|---|
| 1 | 初期ルネサンス美術1：マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど |
| 2 | 初期ルネサンス美術2：ルネサンス美術の特徴、遠近法（透視図法）とはなにか |
| 3 | 盛期ルネサンス1：レオナルド・ダ・ヴィンチについて |
| 4 | 盛期ルネサンス2：ミケランジェロ、ラファエロなど |
| 5 | マニエリスム美術：ティントレット、ブロンズイーノなど |
| 6 | バロック美術：ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど |
| 7 | ロココ美術：ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど |
| 8 | 19世紀の美術1：新古典主義、ロマン主義 |
| 9 | 19世紀の美術2：レアリズム、マネの作品、印象主義 |
| 10 | 19世紀の美術3：後期印象主義、世紀末美術 |
| 11 | 古代～中世の美術1 |
| 12 | 古代～中世の美術2 |
| 13 | 20世紀の美術1：キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど |
| 14 | 20世紀の美術2：第二次世界大戦後の美術 |
| 15 | 全体のまとめ、テスト問題の傾向 |

【成績評価方法】

平常点（演習問題、グループワーク、授業態度など）50%、テスト（期末一回）50%で評価を行う

【教材・教具】

教科書：千足伸行監修 『新西洋美術史』（西村書店）

【教材・教具】